

2019年 えんだより

1月号



NO. 154

シャローム三育保育園

平成最後の新年をどのように迎えたでしょうか。何につけてもいずれ終わりがあり、同時に始まりがあります。子どもでも大人になっても毎日が始まりで、チャレンジです。一日一日を大事に過ごしたいですね。どうか新しい一年もみんなの健康が支えられ、恵の多い一年でありますように心から願っております。

園長 村上 渉

* 掲示板練習メッセージ1月1日頃配信いたします

《お知らせ》

・12月6日付で池部 桃子保育士が入職いたしました。



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 元旦	2 年始休み	3 年始休み	4	5
6	7 礼拝	8 おもちゃつき	9	10 英語教室 (3.4.5歳児)	11	12
13	14 成人の日	15	16 避難訓練	17 英語教室 (4.5歳児)	18	19
20	21 礼拝	22 体操教室	23	24 英語教室 (3.4.5歳児)	25 保育園職員会議	26
27	28 礼拝	29 体操教室	30 誕生会			



「楽しかった思い出は、明日を生きる力になる」

シャローム三育保育園の“三育”には「知育：考える力」「徳育：おもいやる心」「体育：けんこうな体」の意味があります。どれをとっても子どもたちが成長していく上で、とても大切なことですが「健全な精神は健全な体に宿る」という言葉があるように、健康な体には、それに伴って健康な精神も備わっていくという事です。子どもにとって“健全なからだ”とは日々の生活の上に成り立つものです。良く食べ、良く遊び、良く寝るに尽きるわけですが、食べる事と寝る事は自然にお腹が空き、眠くなっても、遊びは環境や道具によって影響されてきます。特に体を使って遊ぶことは子どもの成長には不可欠です。体を動かして遊ぶことで手や足、筋肉の使い方、バランス感覚、距離感、スピード感、など体の多様な使い方を体で覚えていきます。ぴよんぴよん跳ねたり、走り回りたい衝動に駆られるのも成長の証です。「うちの子は落ち着きが無くて・・・。」とよく耳にしますが子どもにとっては体が動く喜びを感じているのです。また自然の植物や虫、土や水に触れあう遊びは、遊びの価値を高め、自然から学んだ事は生きる力を育みます。遊びの中には心身の成長に欠かせない要素がたくさん含まれています。

今年の2月、園庭のリニューアルを予定しています。今でも子どもたちは思い思いに工夫しながら遊んでいます。もっともっと「あんな遊び」「こんな遊び」の発想が広がって、遊びの中で目標を持って達成感を味わえるような園庭にしたいと思っています。

「楽しかった思い出は、明日を生きる力になる」これは今回園庭整備をお願いする事になった業者の方が作成した資料に書かれていた言葉です。

保育園での生活でたくさん楽しい思い出を作ってもらいたい、その笑顔が生きる力となって子どもたちの未来の礎になってほしいと願っています。

新年を迎えるにあたり、明日も保育園に行きたい！と、子どもたちが保育園に来ることを楽しみにしてくれる保育を目指して、今年も職員一同頑張ります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

園長

